

44th TOIS SEMINAR

フィジカルAIの光と影

～従来ロボットとの比較からフィジカルAIの現場実装と日本の勝ち筋を考える～

開催日時：2026年11月26日（木）14:00～18:00（ネットワーキング含）

開催場所：名古屋大学 ES総合館 1階

愛知県名古屋市千種区不老町（名古屋大学東山キャンパス内）

※市営地下鉄「名古屋大学駅」3番出口すぐ

参加費：無料

申込み：以下のリンクまたは右のQRコードから申込みをお願いします。

<https://forms.gle/CGL3rykUgYhxVdD17>



会場GoogleMap



申込みフォーム

2026.11.26.

開催

現場を動かす、“知能”の進化

フィジカルAI*とは、AIが実世界を認識・理解し、ロボットや機械を通じて自律的・適応的に行動する技術です。少子高齢化や人手不足を背景に、製造、物流、モビリティ、医療・介護、建設、農業など、さまざまな現場でその活用への期待が高まっています。

一方、印象的なデモンストレーションや高い期待とは裏腹に、実際の現場への実装にはなお大きなギャップがあります。技術的な課題に加え、安全性・信頼性、費用対効果、学習・データ基盤、責任の所在、標準化、運用体制など、解決すべき課題は少なくありません。そもそも、どのような現場やタスクにフィジカルAIを導入すべきか、従来型ロボットや自動化技術との使い分けを見極めることも重要です。また、人手不足の解消や生産性向上といった「光」だけでなく、雇用や働き方、安全性、責任、データ・セキュリティ、人類へのリスク、などの「影」についても考える必要があります。さらに、中国や米国などがフィジカルAIへの投資や開発を加速する中、ものづくりを強みとしてきた日本が、どの領域で競争力を発揮し、どのような「勝ち筋」を描くのかも重要な論点です。政府は、戦略17分野の一つである「AI・半導体」の中でフィジカルAIを重要テーマに位置付けており、AIロボティクス戦略も今年3月に取りまとめられました。複数の企業連合なども立ち上がりつつあります。

本セミナーでは、アカデミアおよび産業界でロボティクスに携わってこられた専門家にご登壇いただき、フィジカルAIの全体像と現地、その可能性と課題を共有します。その上で、従来型ロボティクスとの比較を通じ、どのような現場・タスクでフィジカルAIを活用すべきか、社会にもたらす「光と影」は何か、そして日本の「勝ち筋」をどこに見いだすべきか、産学官金連携を含めたエコシステムのあるべき姿、等について議論します。

*フィジカルAI：学習・基盤モデル・データ駆動・適応中心；

**従来ロボティクス：モデルベース・ルールベース・ティーチング中心（部分AI含む）



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構



岐阜大学
名古屋大学



Tokai
Innovation
Institute

お問合せ先：

国立大学法人東海国立大学機構 TOIS 事務局

nakamura.keiko.w2@f.mail.nagoya-u.ac.jp

（担当 中村）



フィジカルAIの光と影

～従来ロボットとの比較からフィジカルAIの現場実装と日本の勝ち筋を考える～

開催:2026年11月26日(木) 14:00～18:00

13:30 開場・受付開始

14:00-14:10 ご挨拶・企画趣旨説明 名古屋大学 オープンイノベーション推進室 室長／特任教授 寺野 真明

【基調インプット】

14:10-14:30 フィジカルAIの現在地と目指すべき姿 －海外先端企業・政策動向から見る最新潮流－

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（MURC）／名古屋大学 客員准教授 木下 祐輔 氏

【基調講演】

14:30-14:55 AIとフィジカルAIのインパクトを過小評価せず、汎用技術として現在地を俯瞰的に考える

株式会社デンソー 研究開発センター シニアアドバイザー／岐阜大学 客員教授 成迫 剛志 氏

14:55-15:20 フィジカルAIの実現に向けた遠隔操作インタフェース技術

名古屋大学未来社会創造機構ナノライフシステム研究所 所長／教授 長谷川 泰久 氏

(15:20-15:35 休憩・ネットワーキング)

【パネル討論】

15:35-17:00 テーマ「フィジカルAI vs 従来ロボティクス 社会実装と競争戦略を考える」

モデレーター：鈴木 達也 氏（名古屋大学大学院工学研究科 研究科長／教授）

パネリスト： 成迫 剛志 氏（株式会社デンソー／岐阜大学 客員教授、他）

長谷川 泰久 教授（名古屋大学工学研究科）

松下 光次郎 教授（岐阜大学）

藤本 弘道 氏（株式会社Thinker／株式会社SHIN-JIGEN）

木下 祐輔 氏（MURC／名古屋大学 客員准教授）

モデレーター・パネリスト自己紹介（基調インプット・講演を除く3名 各7分）

パネル討論:主な論点

- ・ フィジカルAI vs 従来ロボティクス：フィジカルAIの適用領域と社会実装に向けた課題
- ・ 日本が競争優位を形成するための強みと「勝ち筋」
- ・ フィジカルAIが社会・産業にもたらす「光」と「影」
- ・ フィジカルAIの研究・開発・実装におけるこれからの産官学金連携、エコシステム形成のあり方、アカデミアへの期待など

会場からの質問・ご意見

17:00-17:10 クロージング

17:10-18:00 交流会・名刺交換会

TOIS（TOKAI OPEN-INNOVATION SALON）とは？ 東海国立大学機構は、サロン活動TOIS（TOKAI OPEN-INNOVATION SALON）を設け、社会、企業とアカデミアそして社会での実践者の入り混じりによるオープンイノベーションの創出に挑戦し、その発火点として各種テーマによるセミナーを開催しています。入り混じりからの共創を目指し、セミナーでは前半、有識者らからの最先端の情報の交換の後に、同インプットをトリガーとする新規テーマ創出議論（アトリエ活動、後半）を同業他社、異業種を含めたオープンな議論のもとに進めます。新規事業、スタートアップなどイノベーションを求める仲間のご参加を期待します。サロン入会は無料です。詳しくは下記連絡先までお問い合わせ下さい。

主催： 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構

TOKAI OPEN-INNOVATION SALON（TOIS）※

共催： 株式会社 Tokai Innovation Institute

お問合せ先： 国立大学法人東海国立大学機構 TOIS 事務局 nakamura.keiko.w2@f.mail.nagoya-u.ac.jp （担当 中村）